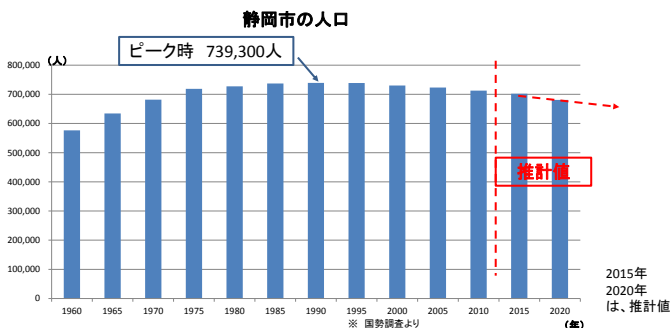


## 本市を取り巻く現状

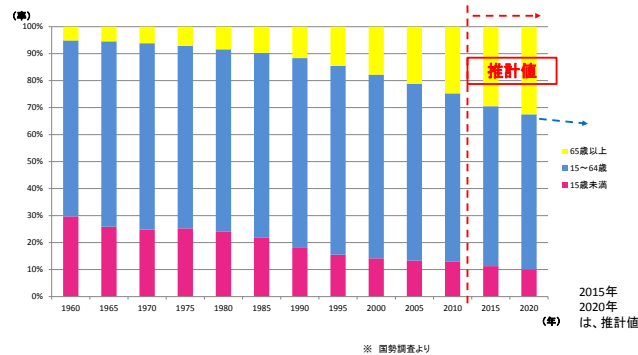
### (1)人口の推移・推計

1990年をピークに減少傾向



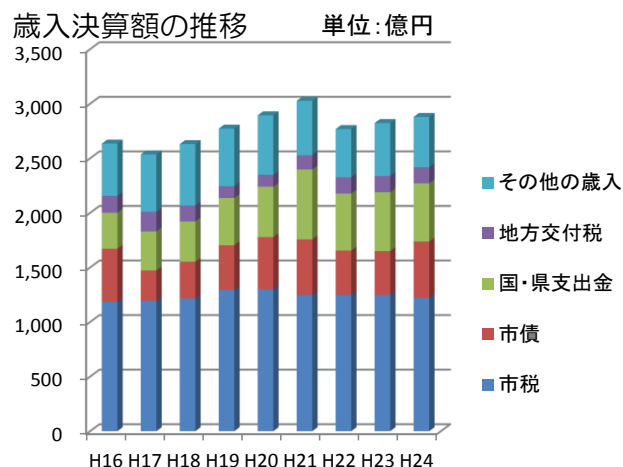
### (2)生産年齢人口(15~64歳)の推移・推計

生産年齢人口割合の急速な減少

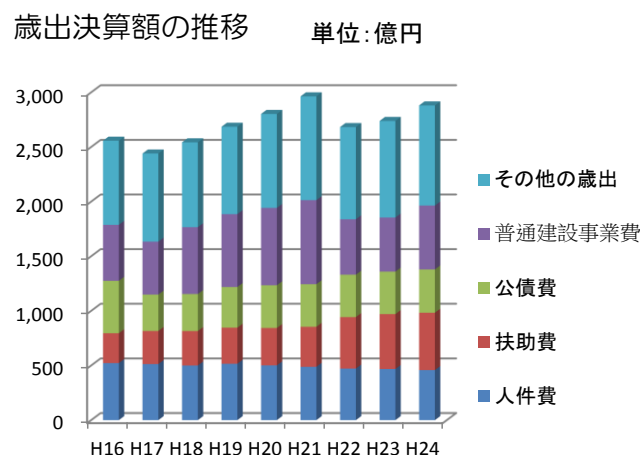


### (3)財政状況

市税等収入の伸び悩み



扶助費・公債費が増加傾向



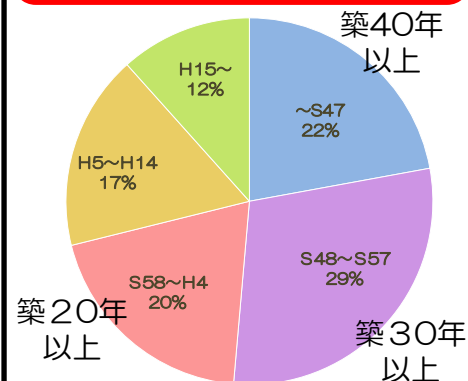
## 本市公共建築物の現状

公共建築物棟数  
総延床面積

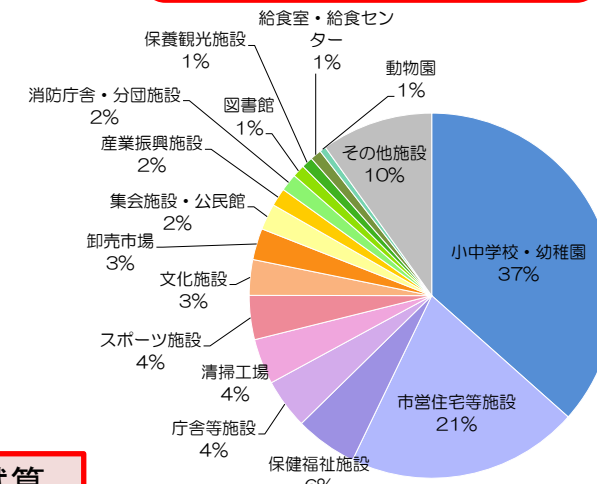
4,285棟  
2,301,026㎡  
[用途別面積割合]

[築年数別面積割合]

10年後には  
築30年以上が7割超



教育施設、市営住宅で約6割



将来の維持更新費用の試算

今後50年間に要する費用総額  
⇒ 約1兆7,500億円(350億円/年)

【試算条件】

- ・保有する建築物総量は不変とする。
- ・建替えは40年周期、大規模修繕は15年周期を想定。
- ・建替費用及び大規模修繕費用を含む。

## 課題の整理

- 【人口】  
総人口の減少、生産年齢人口割合減少等の人口バランスの変化
- 【財政】  
(歳入)市税収入の伸び悩み  
(歳出)義務的経費(扶助費・公債費)の増加
- 【公共建築物】  
・老朽化の進行(築30年以上が約半数。10年後には7割超)  
・建替え、大規模修繕時期の集中

## 今後の進め方

- 【基本となる3つの柱】
- ①公共建築物の総資産量の適正化
- ②公共建築物の長寿命化
- ③民間活力の導入

上記の「柱」を基本とした、  
総括的なマネジメントの方向性を示す「**基本方針**」  
及び「**個別施設マネジメント計画**」の策定

実行

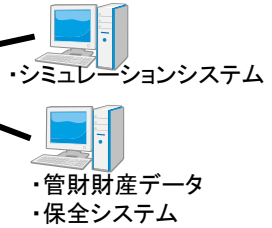
# 静岡市アセットマネジメント推進イメージ

全体方針

## 計画ステージ1 (H24)

全体像の把握  
見える化の推進

市保有のハコモノの維持・更新費用のシミュレーション



## 計画ステージ2 (H25)

施設群評価分析

【実態調査】対象: 800施設  
・アンケートの実施  
・ヒアリングの実施

ビルトイン!

総合計画素案

基本方針

3本の柱を軸に公会計視点も盛り込み  
本市アセットマネジメントの基本方針を策定

行革大綱素案

施設群別方針

## 実行ステージ1 (H26)

個別施設評価分析

・施設カルテの作成



ハコモノの他、道路、橋りょう、トンネル、上下水道などのインフラ資産を串刺し

個別施設方針 (ハコモノ)

施設廃止 機能廃止 改善 継続

個別施設方針 (インフラ)

道路 上下水道  
橋梁 プラント  
トンネル その他

## 実行ステージ2 (H27~)

方針に沿った実行

・廃止、売却  
・運用益を長寿命化予算へ

・サービスの転化  
・民間活力の導入  
・統合施設としての検討  
・用途転用

・機能縮小  
・統合先施設として検討

・保全計画の策定 (長寿命化)

PDCAサイクル

継続、改善、廃止の実行

P

個別施設方針(計画)  
地域の戦略  
予防保全の徹底

※資産経営システムの活用により、得業コストの削減効果を評価、監視、実行

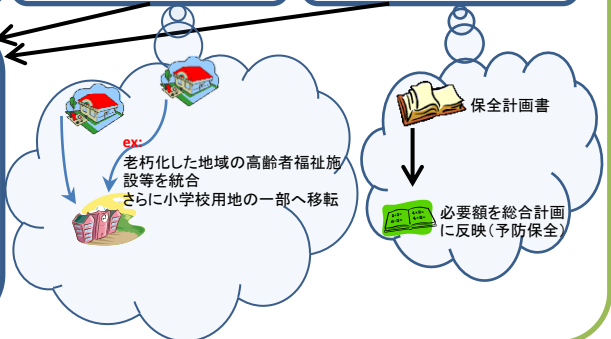
計画の実行  
定期的なデータ収集

D

時点評価の実施

C

A



実行